

令和元年5月市長定例記者会見 記録

令和元年5月23日(木)

午前10時～午前10時30分

発表案件

1. 大型連休における観光客の入込状況について

初の10連休となりました今年のゴールデンウィーク中の観光客の入込実績について、佐渡市におけます航路、宿泊施設などの実績から観光客の状況をお知らせさせていただきます。連休期間中の4月27日から5月6日におけます航路の利用者は約10万6千人で、前年同期間中における乗船実績が約7万7千人でありましたのと比較しまして約3万人、前年度比で37.5%の増加となりました。また、島内の期間中におけます宿泊の実績でございますが、島内の主な宿泊施設41施設から聞き取りを行ったところ前年比161%という数字になりました。

2. 人権啓発講演会の開催について

佐渡人権擁護委員協議会、新潟地方法務局佐渡支局、佐渡市で構成している佐渡人権啓発活動地域ネットワーク協議会では、差別や偏見のない明るい地域社会の実現を目指しまして、様々な啓発活動を行っているところでございます。このたび、拉致被害者の蓮池薫氏を佐渡にお招きしまして、人権啓発講演会を6月9日の日曜日午後1時30分から金井コミュニティセンターにおいて開催させていただきます。

北朝鮮による日本人拉致は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題でございますが、いまだに多くの日本人が帰国できず膠着状態が続いております。残されているすべての拉致被害者の安全を確保し、速やかな帰国が望まれております。特に未だ安否不明となっております曾我ミヨシさんの出身地である佐渡市にとって拉致問題は身近な人権問題であり、人権意識調査の回答でも、大いに関心がある、少しは関心があるを合わせますと80%という高い割合を示しております。日本政府の積極的な外交交渉を期待することはもちろんでございますが、市民一人ひとりが常に身近な問題として意識し続けることが重要であり、今回の講演は拉致問題への関心と理解を一層深める絶好の機会と考えております。入場料は無料でございます。ぜひとも多くの皆様のご参加をお願いいたします。

なお、この会場におきましては、拉致に関しますパネル展示、拉致問題早期解決を求める署名活動も行いますので、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

3. 新潟県有形文化財(考古資料)指定記念「遺跡から見た古代の佐渡－佐渡国分寺遺跡群展・講演会」について

6月1日の土曜日から7月15日の月曜日にかけて、新穂歴史民俗資料館において、新潟県指定有形文化財(考古資料)指定記念「遺跡から見た古代の佐渡－佐渡国分寺遺跡群展」を開催いた

します。

国分寺遺跡群は佐渡の真野地区に位置し、今から約 1300 から 800 年前の遺跡であり、奈良から平安時代の新潟県を代表する遺跡で、膨大な量の遺物が出土しております。国分寺遺跡群は、古代の寺院跡である佐渡国分寺跡、佐渡国分寺の屋根を葺くための瓦を焼いた経ヶ峰窯跡などの遺跡の総称を指します。その中から歴史的に貴重な品が今回指定され、それらの資料を中心に展示させていただきます。佐渡国分寺遺跡群展コーナーは入館無料でございますが、民族資料館の中の他の常設展示コーナーは有料となっておりますのでご注意ください。

また、佐渡国分寺遺跡群や展示品をより理解していただくために、併せまして講演会を 6 月 15 日の土曜日午後 1 時から午後 3 時 30 分まで、新穂のトキのむら元気館にて開催いたします。当日は、奈良大学の坂井秀弥先生と新潟県埋蔵文化財センターの春日真実氏による記念講演を行います。講演会の入場・資料代は無料、定員は 150 名で、事前申込は不要でございます。多くの皆様方のお越しをお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。この展示会、講演会をきっかけにしまして、市民の皆様が改めて文化財への関心を寄せていただければというふうに考えております。

4. アース・セレブレーション 2019 のチケット販売開始について

アース・セレブレーション 2019 のチケットを 5 月 15 日から販売開始いたしました。今年で 32 回目となりますアース・セレブレーション 2019 は、令和元年 8 月 16 日から 18 日までの 3 日間、小木みなと公園を中心会場として開催いたします。今年度は、恒例となった小木みなと公園でのハーバーマーケットライブの入場方法を見直し、よりお客様の待ち時間の負担を軽減して開催するほか、響く島 sado プロジェクトの一環で今回初めて小木城山公園を舞台に映画の野外上映会「ハロー ジャパンシー シネマ～島の上映会～」の開催を予定しております。

また、佐渡の入り口、両津港周辺では 8 月 10 日から 9 月中旬まで、昨年好評を得ましたさどの島 銀河芸術祭プロジェクトも併せて開催いたします。他にも、芸能のワークショップや体験プログラムなどのアクティビティとハーバーマーケットと小木町商店街とがコラボした扇の市など、ゆっくり滞在できるような取り組みなど、盛りだくさんのプログラムをご用意しております。

チケットは、インターネット予約サイトのほか全国のローソンチケットでご購入いただけるほか、島内では、あいぽーと佐渡、アミューズメント佐渡、佐渡観光交流機構、たたこう館などで販売中でございます。島外のみならず市内の多くの皆様からも佐渡の魅力を楽しんでいただけるイベントとなっておりますので、ぜひお誘い合わせの上参加いただければと思います。

5. 「蓄冷式冷蔵コンテナ」の佐渡汽船両津航路導入について

鮮度を保持した状態で佐渡産の農産物を島外に出荷するために、カーフェリーに積載できる蓄冷式冷蔵コンテナを 3 基導入いたします。

導入にあたりましては、佐渡汽船株式会社、佐渡農業協同組合、新印佐渡中央青果株式会社、佐渡市で構成する佐渡市販売流通効率化協議会が事業実施主体となります。蓄冷式冷蔵コンテナを導入することによりまして、フェリー内での農産物の温度管理を安定させ、品質を保持することにより、農産物の販売力を強化し、第一次産業の生産拡大及び振興を図る目的でございます。供用開始

は、6月1日からを予定しております。

事前質問

なし

質疑応答

1. 大型連休における観光客の入込状況について

記者：

改めてこの増加した理由というのを教えていただきたいんですけども。

市長：

詳細は担当の課長からも説明してもらいますが、一つ今年の特徴は、首都圏、特に東京方面からの入込みが前年の倍を超えているという部分がございます。これにつきましては、この春先から東京、埼玉、神奈川等首都圏部に絞ったプロモーションを色んな形で行ったものとかの効果も現れているものというふうにも思っております。

記者：

きらりうむがオープンしたりですとか、そういった施設のオープンもありましたけども、相川地区特に入込みが多かったってのはありますか。

観光振興課長：

地区別の分析というのは詳細を分析しておりませんが、宿泊施設の状況から見ますと、どこも大体佐渡全般的に入込みは多かったですけども、相川地区については去年よりさらに伸びたところばかりでございます、これ以上は入れないのかなというようなところまで入っているのかなと考えております。

記者：

観光施設のほうの入込みの状況、前年比と比べて・・・。

観光振興課長：

すみません。ちょっと詳細のデータを持ってきておりませんが、数字自体は持っております。

市長：

きらりうむの数字も、後で渡せると思います。

記者：

昨日リリースをいただいた佐渡航路の輸送状況で、4月の小木直江津航路が前年比プラス27%伸びていますけど、その辺りとの関連ってというのはどういうふうに見てるんでしょう。

市長：

こちらで報告としては非常にその航路、車の航送が今回増えているという傾向はもらっていますが、そこは交通政策課長から。

交通政策課長：

その件ですけれども、ゴールデンウィーク期間中の入込みが多かったということでしょうか。

記者：

なぜそういうふうになったのかっていう、小木航路が特にこう伸びたのか。

交通政策課長：

そこまでは、佐渡汽船のほうにもちょっとお伺いしていないんですが、詳しいことはまた後でよろしいですか。

記者：

前回の記者会見時のときに、ほぼ満室になっている宿泊施設も多かったということなんですけど、今年にかけて結構営業を停止したりするホテルとか、民宿がいくつかあったと聞いてますが、島内全体の宿泊施設のキャパというのは、こういったその観光客の増加傾向も踏まえて、十分というふうにお考えでしょうか。

市長：

どこまでが十分という判断かはあれですけど、一応営業を取りやめたホテルもございます一方、昨年から新たにできたホテル等もあったり、あと少しずつですが民泊を始めるところも何件が出てきておりますので、今後の推移を見ながらになりますけども、少なくとも現状の宿泊キャパについては維持しながらなんとか今後の交流人口の増加を踏まえて、順次キャパを増やしていく方向で市のほうも一生懸命努力していこうと思っています。

記者：

きらりうむはあまり入っていなかったと思うんですよね。ゴールデンウィーク期間中。今後どういうふうな売り方していくんですか。金山に行って、主なところは回るけども、きらりうむはあまり寄らないような気がする。

市長：

詳細は担当のほうから説明しますが、一応ゴールデンウィーク期間中は大体 350 人ほど平均で入っていたという報告は受けております。

産業観光部長：

連休中のきらりうむの入館者の数でございますが、4月27日から5月5日ということになりますけども、2,500人の方に来ていただいております。ということで平均で申し上げますと、250人というところでございます。今、きらりうむにおいでになった皆様からアンケートも色々実施させていただいて、ご意見をいただいております。皆様から色々ご意見をいただいた中で、より良い施設、喜んでいただける施設にさせていただきたいと、さらにお客様に足を運んでいただける施設にしたいというふうに考えているところでございます。

記者：

観光コースみたいなのは考えないんですか。

市長：

きらりうむの中で地元の町歩きガイドさんも含めてセッティングさせていただいておまして、こちらとしますときらりうむをスタート地点にして、そこから相川の町中、京町方面まで色んな形でガイドをしていただきながら散策していただくというものをなんとかどんどんどんテコ入れして、そこのお客さんを増やしたいということで今スタートをしているところでございます。

記者：

今のきらりうむの入館者数の期間の末は5月5日でよろしいんですか。

産業観光部長：

失礼しました。5月6日でした。

記者：

それで、宿泊者数の前年度の期間が4月28日からと少なくなって比較の対象としてはあんまり不適當なんですけど、これは4月27日からの数字はないですか。10連休の事情が違うんで昨年のゴールデンウィークは確かにこの4月28日からだったのかとは思いますが、そういう数字はあったりしませんか。

観光振興課長：

申し訳ありません。お配りしてある資料の日数が1日間違っておまして、当日・・・。

市長：

全く同じ比較でやらせていただいています。

記者：

ですよね。

観光振興課長：

4月27日から5月6日です。

記者：

ジェットfoil、増便できなかったわけですけど、それ満席状態だったんでしょうか。

市長：

ジェットfoilは連休中は当初の計画どおりです。

交通政策課長：

4月27日から5月6日の間のジェットfoilの利用者数については、新潟両津航路ですが、前年比で19%プラスになっております。全てが満席だったかどうかについてはちょっと把握しておりません。

2. 人権啓発講演会の開催について

記者：

講演会入場無料ですけども、申し込みは要らないんですよね。

市民福祉部長：

申込み等は不要でございますので、当日会場に時間までにおいでいただきたいということでござ

います。

記者：

これ毎年この時期にやってらっしゃるんですか。

市民福祉部長：

今回、中央から講師をお招きしてというのは概ね3年に1回程度というところになってございます。

記者：

それからですね、3ページの5番目の人権意識調査の回答ってのが出てくるんですが、この人権意識調査ってのは、いつどこで実施されたものなんでしょうか。

市民福祉部長：

佐渡市で人権教育啓発推進計画というものを持ってございます。31年度で今の計画の期限がきますので、昨年度1月に一般市民の方を対象にしまして、これを調査した結果でございます。その資料として調査をしたということでございます。

記者：

昨年度の1月って、今年の1月ってこと。

市民福祉部長：

はい。31年1月です。

記者：

今年の1月ですね。佐渡市が実施したということですね。

市民生活部長：

はい。そうです。

3. 新潟県有形文化財（考古資料）指定記念「遺跡から見た古代の佐渡－佐渡国分寺遺跡群展・講演会」について

なし

4. アース・セレブレーション2019のチケット販売開始について

記者：

チケットの販売が昨年より1か月ほど前倒ししてことなんですけども、改めて効果、どんなところを狙ってこういった前倒しになってるのかっていうのを伺いしてよろしいでしょうか。

観光振興課長：

今、チケットの販売については、ローソンチケットなど全国で手配できるような仕組みで行っております。これは、近年ある程度グループで来るといよりも、個人で来られるお客さんが多いところから、なるべく早めに売り出しして今年の夏のスケジュールを組み立てやすいような状況を作って、なるべく個人のお客さんにも多く来ていただきたいという狙いでございます。

記者：

関連してなんですけども、ちなみにこれはプロモーションとしては島外でのものも何か今後予定していますか。

観光振興課長：

ネットなんかを使って、ユーチューブみたいなところで流したり、そういうような点で行っております。

記者：

佐渡市さんで作成した動画、鼓童のほうで・・・。

観光振興課長：

実行委員会です。

記者：

主催者のアース・セレブレーション実行委員会ってのはどういう構成なのでしょう。それから昨年の参加者数を教えてください。

観光振興課長：

構成なのですが、佐渡市が中心になっておりまして、実行委員長は市長ということになります。その中には、観光関係者、鼓童、そして交通関係、県というところまで入っております。

記者：

新潟県も入ってる。

観光振興課長：

はい。

記者：

昨年の参加者は。

観光振興課長：

取り組みによって参加者数をちょっと分けているのですが、コンサートを中心としたメインの事業でございますが、この部分が3万1,000人。あと関連事業としまして銀河芸術祭があるのですが、そこが1万6,000人程度でございます。

記者：

これ足すと、大体の参加者数総数ってことですか。

観光振興課長：

そうです。

記者：

追加でアース・セレブレーション関連なんですけど、今年から初めてハロー ジャパンシー シネマってことで、これの概要とといいますか、どんな上映会を行うかっていうのを。

観光振興課長：

内容につきましては、今組み立て中ではあるのですが、基本的に佐渡で過去に撮った映画、作品名をいうと佐渡テンペスト、飛べ！ダコタ、この2つの上映を行います。サプライズ的な感じにな

るのですが、監督さんのトークショーも今企画中、考えております。まだ、一般公開はしてないのですが、一部海外で公開した佐渡で撮った未公開作品、これについてはBlue Wind Blowsとかアースクエイク・バードというようなハリウッドの映画なんかもありますので、この辺の予告を流せるかどうかというところを今調整しております。

5. 「蓄冷式冷蔵コンテナ」の佐渡汽船両津航路導入について

記者：

資料のほうで、既存のコンテナはないという説明があるんですけども、全国で導入事例はないってことですか。

農業政策課長：

中長距離航路、東海汽船の大島とか東京から出る便、こういうところには既に導入、入れ替えしております。短距離航路としてはそんな事例はありません。

記者：

既存で蓄冷式冷蔵コンテナはないっていうのは。

農業政策課長：

すみません。これは商品として売ってない、要は受注生産という意味です。

記者：

農産物を主に扱うということなんですけど、特にどんな作物の利用、どういった作物に効果があるのか。

農業政策課長：

今現在生産されておるもので想定されておるものが、ゴーヤそれからアスパラガスそれからちょっと時期もう終わりましたけど山菜、このあたりが船の中でコンテナに入っていると温度が上がるものですから鮮度が落ちると。ですので、基本的には夏場の野菜それから島内ではまだネクタリンとかプラム、果物、ここも夏場出荷するものですので、これに利用したいと考えております。

記者：

それらはじゃあ今までそのコンテナを導入する前は島外へ出せなかったっていうのに、それによって出せるようになるっていう認識ですか。

農業政策課長：

現在も島外へは出しておりました。おりましたけども、やっぱり鮮度が落ちますので、市場での価格のほうが高価格での販売はできていなかったということになります。

記者：

これは、輸送料はどのくらいを想定してるんですか。

農業政策課長：

実際上乗せする金額については、協議会の中で最終確認をしております。1万円はいかないくらいの金額で今調整はしておりますが、まだ確定はしてありません。

記者：

運ぶ量はどれくらいを想定してるんですか。

農業政策課長：

今年は今のところ年間 50 t 程度、生産状況によりますが 50 t 程度を今年は想定しております。将来的には、アスパラとか生産拡大に入っておりますので、この 2 倍以上、100 t 以上年間出荷したいなど今考えております。

記者：

事業費はどのくらいになるのでしょうか。

農業政策課長：

事業費は 1 基あたり 400 万円。今回 3 基入れますので、約 1,200 万円が総事業費になります。そのうち国から半分、2 分の 1 補助金が入ります。そこに佐渡市のほうも 10% 補助して、残りは事業者のほうで協議会の中で負担していただくということになっております。

記者：

確認なんですけど、基本的に両津新潟航路ということでしょうか。

農業政策課長：

市場が新潟中央青果、ここへ持っていきますので、航路的には両津を使わないと距離が長いので、両津航路だけです。